

プリンセス・クルーズ、アラスカ州都ジュノーにおける
陸上電力供給システム導入から 25 周年を迎え、
環境への取り組みをさらに推進
～持続可能なクルーズの未来を牽引し、世界 41 港の環境負荷低減モデルへ～



[プリンセス・クルーズ](#)は、2001 年にアラスカ州都ジュノーにおいて、クルーズ会社として初めて船舶を水力発電による陸上電力供給システムへと接続し、[アラスカ](#)クルーズの新たな時代を切り拓きました。この先駆的な取り組みは 25 年を経た現在も受け継がれ、世界各地の港湾におけるモデルケースとして、環境負荷の低減と地域社会への持続的な価値の創出に貢献し続けています。

2001 年の導入当初より、プリンセス・クルーズはジュノー市・郡およびアラスカ・エレクトリック・ライト&パワー (AEL&P) と協力し、クルーズ客船をジュノーの水力発電による陸上電力供給システムへ接続する取り組みを推進してきました。これにより、寄港中は船舶のエンジンを停止できるため、排出ガスの大幅な削減を実現しています。当時画期的だったこの取り組みは、現在では世界における先進事例となり、世界 41 の港で陸上電力供給システム導入のモデルとなっています。

プリンセス・クルーズの主な実績

- ジュノーにおける陸上電力供給システムの運用開始から 25 周年
- 2001 年、ジュノーで陸上電力供給システムに接続した初のクルーズ会社
- アラスカ就航から約 60 年
- 陸上電力供給システムへの接続回数：1,725 回
- 水力発電由来の電力使用量：1 億 2,366 万 8,490 キロワット (kWh)
- 温室効果ガス排出の削減量：84,533.6 トン (CO₂換算)
- ジュノー地域へのコミュニティ・パートナーシップ (COPA) クレジットによる還元額：1,124 万 2,400 米ドル



プリンセス・クルーズ社長のガス・アントーチャは次のように述べています。

「この 25 年間に於けるジュノー市・郡およびアラスカ・エレクトリック・ライト&パワー（AEL&P）とのパートナーシップは、クルーズ業界、行政、そして地域社会が共通の目標に向かって協力することで、どれほど大きな成果を生み出せるかを示してきました。プリンセス・クルーズは、世界のクルーズ業界に変革をもたらした陸上電力供給技術の普及を牽引するとともに、アラスカにおける環境保全と地域社会への貢献を実現してきました。お客様が愛してやまない寄港地を守ることは、創業以来変わることのないプリンセス・クルーズの使命です。私たちは、この歩みを誇りに思うとともに、その取り組みをさらに発展させていきます。陸上電力供給システム導入から 25 年という節目を迎えるにあたり、アラスカにおけるクルーズの未来を支えるイノベーションへの投資を、今後も継続してまいります」。

業界を変えたパートナーシップ

ジュノーに世界初の陸上電力供給システムを実現するには、先見性、技術革新、そしてこれまでにない官民連携が必要でした。大型クルーズ船をジュノーの独立した水力発電による地域電力網へ接続するという挑戦は、極めて高度な技術力を要するプロジェクトであり、現在でも画期的なエンジニアリングの成果として高く評価されています。この先駆的な取り組みは世界各地へと広がり、現在では 41 の港で陸上電力供給設備が導入されるなど、クルーズ業界における環境負荷低減の新たなスタンダードとなっています。

25 年にわたる官民連携の取り組みにより、寄港中の船舶からの排出ガスを削減し、地域の大気環境の改善に貢献するとともに、ジュノーは陸上電力供給システム導入の先進事例として世界を代表する港の一つとなりました。

ジュノー市・郡のベス・ウェルドン市長は、次のように述べています。

「ジュノーは陸上電力供給システム導入の先駆けとなり、その実現を支えた官民連携のパートナーシップが現在も続いていることを大変誇りに思います。この取り組みは、さまざまな関係者が協力することで革新的な成果を生み出せることを示す好例です。今後もジュノーにおける陸上電力供給システムのさらなる普及・拡大に向け、新たな協力の機会を期待しています」。

アラスカ・エレクトリック・ライト&パワー（AEL&P）の社長兼最高経営責任者（CEO）、アレック・メスダグ氏は次のように述べています。

「この 25 年間、プリンセス・クルーズは、ジュノー港における陸上電力供給システムの導入に向けた重要なパートナーであり続けてきました。当社の小規模で独立した地域電力網にクルーズ客船を接続するためには技術革新、相互の信頼、そして緊密な連携が不可欠でした。プロジェクト当初から、プリンセス・クルーズとこの挑戦に取り組んできた結果、排出ガスの削減や地域の大気環境の改善、地域社会への貢献を実現するとともに、ジュノーを陸上電力供給システム導入の世界的な先進事例として確立することができました」。



アラスカで受け継がれる取り組み

プリンセス・クルーズは、アラスカクルーズにおける約 60 年以上の運航実績を誇り、アラスカの豊かな自然環境の保全に取り組むとともに、お客様を迎え入れる地域社会への貢献を継続しています。

現在もジュノーでは、利用可能な際には陸上電力供給システムを活用し、寄港中は地域の水力発電による電力を活用しています。また、保有する客船すべてでエネルギー効率の向上と排出ガスの削減を実現するため、環境負荷の低減につながる技術や運航オペレーションへの継続的な投資を継続して行っています。

編集注記:プリンセス・クルーズは、カーニバル・コーポレーション (NYSE:CCL) 傘下のブランドであり、クルーズ業界に先駆けて陸上電力供給システムを導入しました。現在、カーニバル・コーポレーションはクルーズ業界をリードしており、90 隻を超える保有客船の約 75%が陸上電力供給システムに対応しています。これにより、寄港中は船舶のエンジンを停止し、使用する電力のエネルギー源に応じて、温室効果ガス (GHG) をはじめとする排出ガスを最大 100%削減することが可能です。陸上電力供給システムは、2050 年までに運航に伴う温室効果ガス (GHG) 排出量実質ゼロ (ネットゼロ) の実現を目指すクルーズ業界にとって重要な取り組みの一つです。しかし、世界の港湾のうち、クルーズ客船向けの陸上電力供給システム設備を備えている港は約 40 港にとどまり、全体のわずか約 3%に過ぎません。そのため、カーニバル・コーポレーションは世界各地の港湾と連携し、陸上電力供給システムの整備・拡充を推進しています。詳細は、[2025 年サステナビリティ・レポート](#) (英語) をご覧ください。

プリンセス・クルーズについて

米国ドラマにちなみ、「ラブ・ボート」の名で知られるプリンセス・クルーズは、世界で最も象徴的なクルーズ・ブランドとして、大型船ならではのサービスと共に、小型船ならではのお客様のご要望に合わせたきめ細かいサービスの提供により、年間数百万人ものお客様を最も人気のデスティネーションへお連れし、夢のバケーションをお届けしている。充実した客室、ワールドクラスのダイニング、壮大なパフォーマンス、受賞歴のあるカジノやエンターテインメント、ラグジュアリーなスパ、想像を掻き立てる体験、数々のアクティビティとメダリオン・クラスの融合により、カリブ海、アラスカ、パナマ運河、メキシカンリビエラ、ヨーロッパ、南米、オーストラリア/ニュージーランド、南太平洋、ハワイ、アジア、カナダ/ニューイングランド、南極、ワールドクルーズなどの世界中の素晴らしい環境での大切な方との忘れられないひとときを創造している。2025 年 10 月に最新かつ革新的な客船「スター・プリンセス」がデビューし、姉妹船「サン・プリンセス」は 2 年連続で、米国大手のトラベル誌コンデナスト・トラベラーの「メガ客船部門第 1 位」に選出された。プリンセス・クルーズは、世界 800 以上の港とデスティネーションでクルーズ・ブランドを展開する世界最大のクルーズ会社、カーニバル・コーポレーション (NYSE:CCL) 傘下の会社。